

「創業の精神と共に新たな一歩を」

有限会社原田建設は、元は獣医であり軍人でもあった祖父原田敏行が、戦後の混乱期に家族を養うため、昭和37年(1962年)に「原田建設工業所」として創業いたしました。

創業者は「自分に合わないと思う事でも、一所懸命に取り組みば人並み以上には成れるものだ。」「継続は力なり。」という信念のもと、戦後の宇部の発展のために尽力いたしました。

昭和58年(1983年)二代目として原田敏明が代表取締役役に就任。専務原田晃と共に創業者の言葉を忘れず、35年間一所懸命に事業継続、発展に取り組んでまいりました。

平成30年(2018年)10月に三代目として原田鉄也が代表取締役役に就任。専務原田武之と共にそのバトンを引き継ぎました。創業者と先代が大切にしてきた事をしっかりと引き継ぎ、新たな一歩を踏み出すために私たち原田建設は「企業理念」「企業指針」「行動方針」を策定致しました。

原田建設は社員一人ひとりが希望を抱き、元気で活躍できる会社を目指します。

また、原田建設が果たすべき社会貢献は何なのか――

今までの事業内容にとどまらず、地域の「困った」に対し積極的に挑戦することにより、これまで以上に地域社会に役に立つ企業を目指します。

新しい時代の変化に対応し、皆様の生活の一助となれる様、社員一同力を合わせて一所懸命邁進していく所存です。



有限会社原田建設 代表取締役

原田鉄也



原田建設のココが違う！

1. 創業57年、プラント工事での経験と実績

原田建設は1962年創業より宇部市の化学プラント建設・維持補修工事や、県・市の公共土木工事に携わり、既に半世紀以上が経ちました。その経験と実績から多くのお客様に信頼をいただき、現在では数多くのお客様から幅広く工事のご依頼をいただいております。今後も皆様の多様なニーズにお応えできるよう、さらに視野を広げて事業を展開してまいります。

2. 漏水補修には独自技術で素早く対応

工場のライフラインである工業用水管。多くの場合、この送水を止めることはできません。弊社は独自のノウハウと技術により、「不断水」による漏水補修工事を数多く手掛けてきた実績があります。また、緊急時のご依頼にも迅速に対応し、ご要望に可能な限りお応えできるよう体制を整えております。



3. 試掘調査は「経験」+「技能」+「技術力」

配管やケーブルなど埋設状況を調査するには、多くの調査経験による地中状況の予測と極めて慎重で丁寧な施工の技術が必要となります。埋設物を破損することなく丁寧に掘り出すことで、安全で正確な調査がおこなえます。また、原田建設では試掘調査の安全性・正確性の向上のため最先端の「埋設管路探知器」導入致しました。これにより掘削することなく地中埋設管の位置を把握することができます。



地中の管やケーブルをセンサーで把握できる埋設管路探知器

4. 幅広い種類の工事に対応する「なんでも屋」

「この工事はどこに依頼したらいいの?」そんな時こそ、ぜひ原田建設にご相談ください。土木・建築工事はもちろん、付帯する管工事や舗装工事、さらには鋼材加工まで、原田建設はなんでも承ります。また電気工事など専門工事や複合工事についても、提携の協力会社と連携しスムーズに対応致します。

5. 自社BCPで災害対策

BCP (Business Continuity Planing) とは災害時や非常時に事業をいち早く再開し運用を進めるための計画のことで、原田建設は2016年に自社計画を作成いたしました。自然災害の多い日本で、より多くの人役に立てる企業として、これからも歩を進めてまいります。



2016年に自社BCPを策定。災害に強い企業を目指します。